



食品ロス実態調査の結果を お知らせします



ターゲット 12.3

令和2年4月3日
郡山市生活環境部
3R推進課
担当：倉元 秀一郎
TEL：924-2181

SDGs ターゲット 12.3 「生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる」

市内における家庭系食品ロスの発生状況の現状を把握するため実施した、食品ロス実態調査の結果をお知らせします。

- 1 実施月日 2月27日(木)・
- 2 場所 富久山クリーンセンター
- 3 調査試料
 - ・市内郊外1地域より試料(燃やしてよい・ごみ)採取
 - ・約300kgの試料から食品廃棄物(約100kg)を抽出
- 4 分別区分
 - 食品ロス → 「直接廃棄(100%残存)」、「直接廃棄(50%以上残存)」、「直接廃棄(50%未満残存)」、「食べ残し」
 - 食品ロス以外 → 「調理くず」、「その他」
- 5 調査結果
 - ・調査対象試料(325.96kg)中、食品廃棄物(生ごみ)79.83kg(24.5%)
 - ・食品廃棄物(生ごみ)のうち、食品ロスは29.52kg(37.0%)で、試料全体の9.1%
 - ※ 食品ロス：食品廃棄物のうち、調理くずを除く直接廃棄及び食べ残し
 - ・食品ロス29.52kg(37.0%)中、直接廃棄100%残存は7.36kg(9.2%)、50%以上残存は4.82kg(6.0%)、50%未満残存は1.52kg(1.9%)。食べ残しは15.82kg(19.8%)
 - ・直接廃棄中、消費期限内は0kg(0%)、消費期限切れは0.54kg(10.1%)、賞味期限内は0.16kg(2.5%)、賞味期限切れは3.06kg(32.1%)
 - ※ 裏面を参照願います。



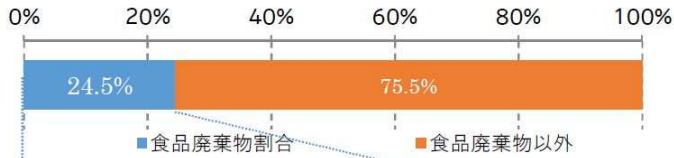
分析結果は、市ウェブサイトでご覧いただけます。

https://www.city.koriyama.lg.jp/kurashi/gomi_recycle/3/23447.html

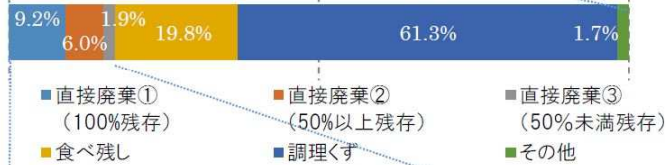
<食品ロス実態調査>

環境省「令和元年度市区町村食品ロス実態調査支援事業」による支援を受け実施したもので、今後、地域・対象等考慮しながら継続調査を行い、詳細な分析を進め、食品ロス削減に向けた政策立案に活用いたします。

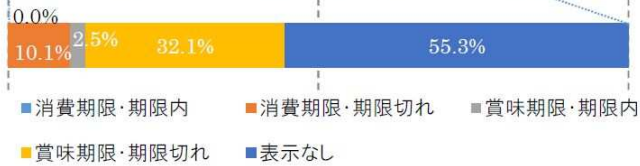
調査試料のうち、食品廃棄物の割合



食品廃棄物の内訳



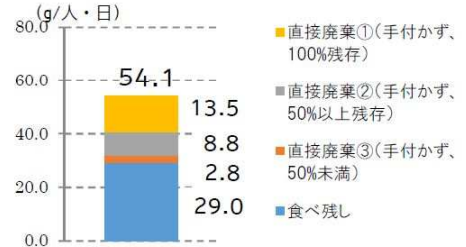
直接廃棄の内訳 (賞味・消費期限別)



1人1日あたりの食品ロス発生量

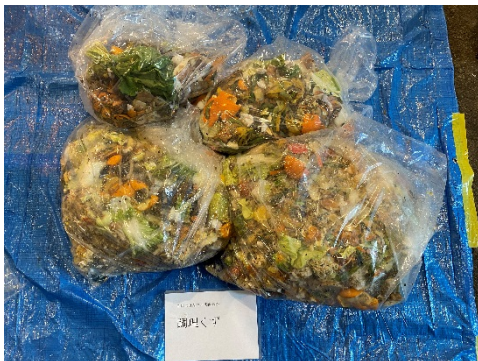
○ 調査結果を踏まえて、1人1日あたりの食品ロス発生量を推計すると **54.1g/人・日**と推計された。

(参考：日本平均 62.9g/人・日 ※農林水産省及び環境省「平成 28 年度推計」より算出)



○ 郡山市で食品ロスの発生を抑えると年間で **6,570トン** の家庭ごみの削減が期待できる。(平成 30 年度郡山市家庭系燃やしてよいごみ量 72,544.80 トンの約 9.1%)

調査実施時の写真



調理くず (野菜・果物の皮、卵の殻など)



食べ残し



直接廃棄 100%残存 表示なし



直接廃棄 100%残存 賞味期限切れ